

王子駅周辺 エリアプラットフォーム 設立趣意書



令和6年10月
王子駅周辺エリアプラットフォーム
設立趣意書

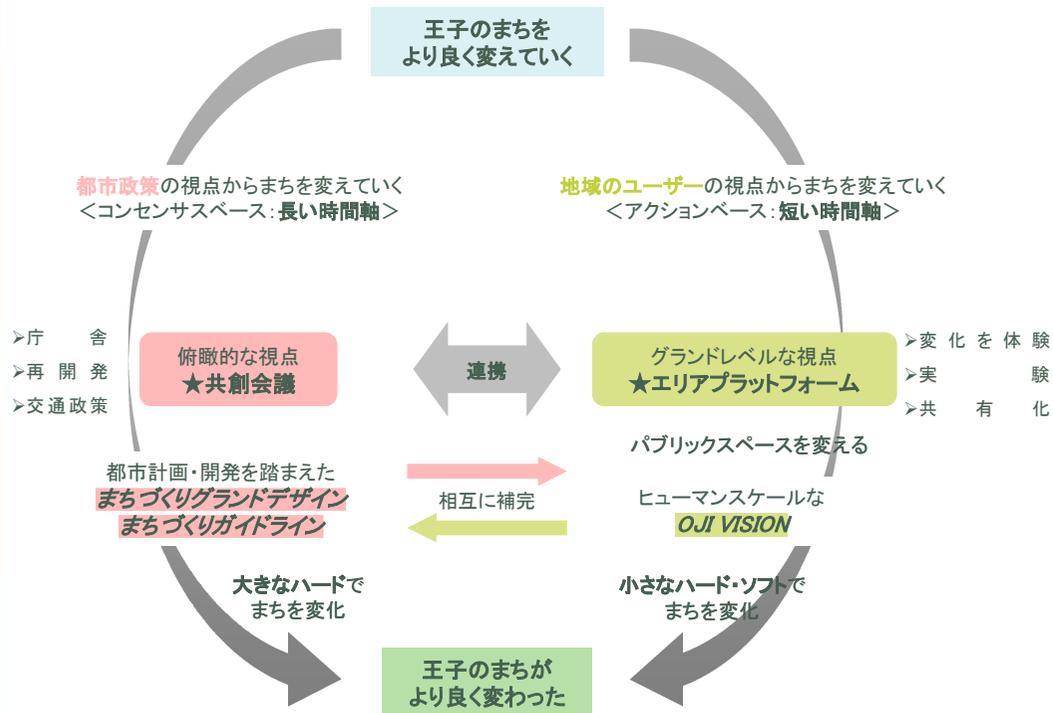
令和6年10月

エリアプラットフォームとは

王子駅周辺エリアプラットフォームは、地域の団体、企業、住民、地権者、就業者、行政機関等が、まちのユーザーとしての立場から小さなハード・ソフトの取り組みを通じて連携していくための場です。

王子共創会議とエリアプラットフォームの役割

都市政策や都市計画の視点から大きくまちを変えていくための合意形成の場である「王子共創会議」と相互に補完しながら、地域が主体となって今ある身近な都市空間（＝パブリックスペース）のあるべき姿や使い方について考え、変えていくための活動や試行（＝プロジェクト）を重ねながら、ヒューマンスケールのビジョンを描き、王子のまちをより良く変えていく役割を果たします。



設立の背景

王子駅周辺では、北区の庁舎移転を契機として、周辺の新たな道路や広場の整備、民間開発の誘導による新たな拠点の形成等の具体化に向けた動きが本格化しており、北口広場や北本通り周辺についても検討が始まっています。

北区が策定した「王子駅周辺まちづくりガイドライン」では、「王子共創～みんなで創る王子の未来～」のコンセプトのもと、公民連携によるまちづくりの推進が掲げられ、具体的な推進体制のひとつとして、エリアプラットフォームの構築が示されました。その後、エリアプラットフォーム準備会や、準備会の参加者有志等による活動を通じて、具体化に向けた検討が重ねられました。

エリアプラットフォーム設立までの経緯

2023年3月 「王子駅周辺まちづくりガイドライン」策定
 ・「王子共創」によるまちづくりの実現に向けて、エリアプラットフォームの構築を提言



2023年8月～ 「エリアプラットフォーム準備会」開催
 ・第1回：設立に向けた区の考え、事例紹介
 ・第2回：エリアプラットフォームのメンバー構成
 ・第3回：エリアプラットフォームの目的と規約
 ウォークアブルなまちを実現するために



2024年2月～ 有志による具体検討
 ・エリアプラットフォーム設立に向けた意見交換
 ・大学生とのワークショップ



「王子駅周辺エリアプラットフォーム」設立へ

本書は、王子駅周辺エリアプラットフォームに関わる人々が、まちづくりに関わることの楽しさやまちの変化への期待を感じながら共に活動し、生まれ変わる王子のまちを次世代へとつなげていくことを目指し、プラットフォームとしてのあり方について提言するものです。

エリアプラットフォームのプロジェクト

様々な形での取り組みをエリアプラットフォームのプロジェクトに位置付け、会員同士が連携して活動していきます。

- ✓ エリアプラットフォームとして独自に企画する取り組み
- ✓ 北区が実施する事業
- ✓ 各会員による取り組みでエリアプラットフォームのプロジェクトとして位置付けたもの

活動の方針

まちを使ってみる

公園、広場、道路、その他未利用空間等、まちのパブリックスペースを活用し、まちの課題解決や新たな魅力の創出に取り組みます。

効果や課題を検証する

パブリックスペース活用を社会実験として捉え、まちなかの回遊性など周辺への効果、住環境への影響、空間やデザイン、制度のあり方等を検証します。

まちのビジョンを描く

小さな場所のあるべき姿のイメージを積み重ねながら、王子駅周辺の未来のビジョンを描き、まちづくりに関わる行政機関や事業者に対して提言していきます。

効果と参加のメリット

エリアプラットフォームのプロジェクトを積み重ねることで、まちに対して多くの効果や良い変化をもたらし、人々がそれを体験することができます。また、規制の緩和・見直しにもつなげることが期待されます。

会員である団体や企業、個人にとっても、地域社会とつながりが深まり、事業の可能性が広がるなど、様々なメリットが考えられます。

「まちを使ってみる」イメージ

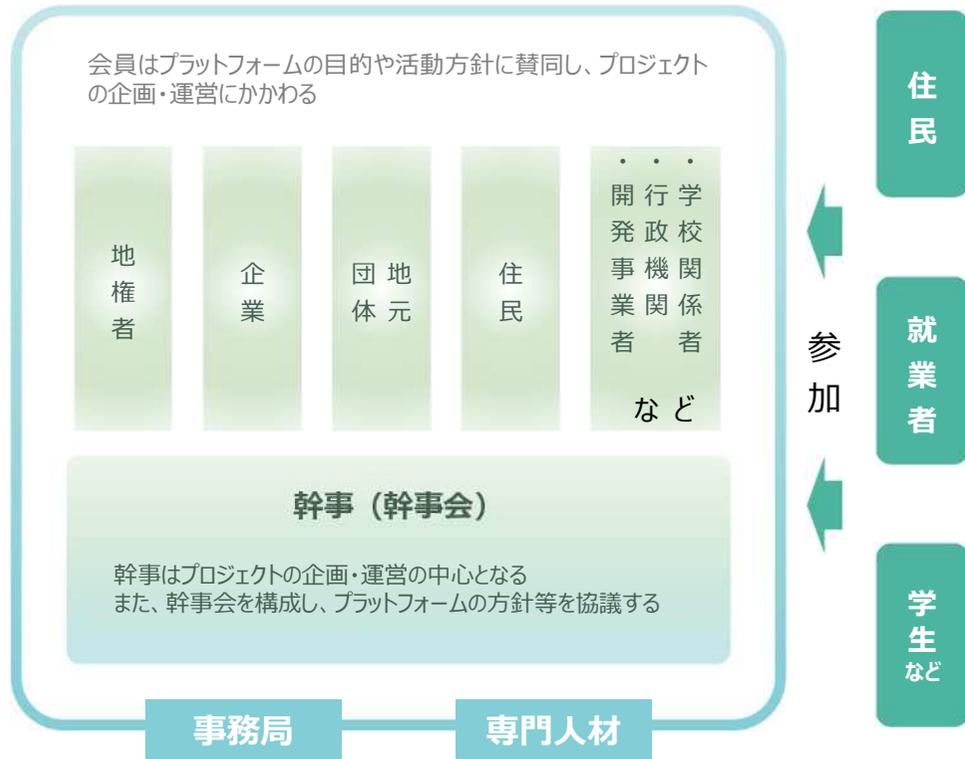


 ウォークابل・ガーデン

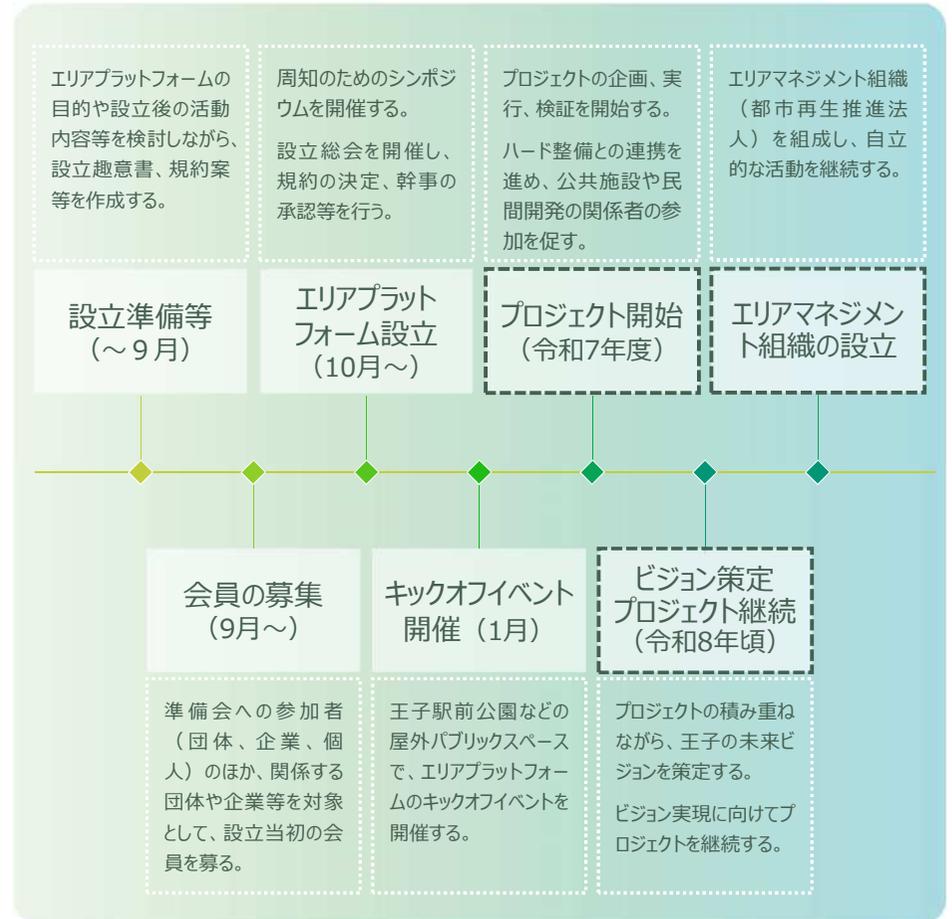
エリアプラットフォームの体制

設立当初は幹事が牽引役となってプロジェクトを実行しながら、会員の参加を促し、プラットフォームの運営を確立していきます。

また、活動の状況や熟度に応じて、体制については随時見直していきます。



当面の予定



必要な事務や手続きを行い、プラットフォーム全体をサポートする

専門家の立場として参画・支援する

プロジェクトとして実施されるイベント等に会場したり、当日参加したりする